

令和 7 年度 事業報告書

社会福祉法人日南福祉会

I 事業の概要

1. 総括

令和 7 年度は、第 9 期介護保険事業計画の 2 年目にあたり、①「2025 年問題」への対応、②生産性向上の義務化・推奨、③経営情報の報告義務化の制度改正が完全に現場へ浸透してきた年となり、また 85 歳以上人口の急増に伴う重度化対応と、医療・介護の連携強化が一段と進みました。さらに 2025 年 1 月より運用が開始された「介護サービス事業者経営情報データベース」への対応など、経営の透明化が求められました。

また、介護保険・報酬改定による運営に大きな影響を与えた報酬改定のポイントは次のものが挙げられます。

□ 処遇改善加算の一本化とベースアップの実現

令和 6 年 6 月に導入された「介護職員等処遇改善加算」が定着し、令和 7 年度にはさらなる **2.0%のベースアップ**を目標とした加算率の運用が行われ、介護職員をはじめとして全職種にルールに沿った分配をし、処遇改善手当として支給しました。

□ 科学的介護（LIFE）の活用と質の向上

LIFE（科学的介護情報システム）へのデータ提出とフィードバック活用が義務化・推奨される中、当法人でも PDCA サイクルを回し、アウトカム（結果）を重視したケアへの転換を推進しました。

□ 生産性向上の推進（ICT 化）

見守りセンサーの運用やインカムの導入検討、記録システムの活用により、業務効率化を加速し、夜間等の人員配置基準の緩和にも柔軟に対応しつつ、ケアの質を担保しました。

生産年齢人口の急減に伴う深刻な人材不足と、地域ニーズの多様化などの状況下のもと令和 7 年度は、特養、グループホームの施設サービスの充実と訪問介護、通所介護事業の効率化や事業運営における体制強化など、法人として次の項目を重点的な項目と位置づけ取組んできました。

1. 人材確保並びに職場環境改善の推進強化
2. 介護サービスの質の向上と生産性向上の取組み推進
3. 災害、感染症等を想定した事業継続体制の強化

まず、職員の確保については、ハローワーク、福祉人材センター、ふるさと鳥取県定住機構等への求人掲載及び高校、短大などへの求人と合わせて、職員の知人等の紹介により年間 10 名（新卒、中途）の応募がありました。

また外国人材の特定技能による雇用を検討し、年度末に向けて受け入れできるように送り出し機関、登録支援機関との打合せを進めてきました。最終的に次年度当初での雇用予定となりました。

令和7年度においては、14人（登用、再雇用含む）の採用と20人（定年、期間満了含む）の退職がありました。

つぎに人材育成は、新人職員を特養においてメンターとなる先輩職員がつき、日頃の業務での指導に加え、定期的な面談や必要な研修への参加など、一人一人の成長段階を確認しながら育成を行ってきました。引き続き3年間の育成プログラムにより育成を行っていきます。

また人事考課制度は、職員個々を育てる仕組みとして、働き方の指針、職種別考課表及びキャリアプランシートを活用し、自己チェック、振り返り、課題や目標、面談などスケジュールに沿って実施しています。この制度については、実施した結果から評価項目、様式等の見直しを行い、実態に沿った評価項目や内容に更新しています。

日南福祉会では、介護福祉士実務者研修と介護職員初任者研修を開講しており、今年度も職員6名（実務者研修4名、初任者研修2名）が受講し、実務者研修では介護福祉士資格取得のための実践的な知識を学び、初任者研修では、介護職員としての基本的な知識や技術を習得してもらう機会となりました。さらに、法人職員の事業における必要な外部研修や資格取得については資格取得助成制度により支援を行ってきました。

一方、介護職員の賃金、処遇を改善するため経験・技能のある介護職員等を対象とした「介護職員等特定処遇改善加算」については、令和6年6月から「介護職員処遇改善加算」、「介護職員等ベースアップ等支援加算」と1本化され、「介護職員等処遇改善加算」となり、引き続き介護職員を主とした処遇改善に重点を置き、毎月の手当として支給してきました。

職場環境改善について、働きやすい就労環境を整備していくために、ICTや介護ロボット等の活用、5S活動推進やメンタルヘルス、ハラスメントなどの研修も行ってきました。

次に事業運営については、安全、安心のサービス提供を第一に、ご利用者に必要な介護サービスを提供してきました。毎週月曜日に行われる在宅支援会議に参加して、福祉保健課、日南病院並びに社協などの関係機関への情報提供、共有を行い、連携を図ってきました。

訪問介護については、令和7年9月末の職員退職に伴い、令和7年10月からの職員体制が厳しくなり、町へ相談して基準該当サービスの認可を受け、サービス提供を行うこととしました。また通所介護についても職員体制の変更に伴い、令和7年10月より週6日開所から週5日開所（月曜日から金曜日）に変更してサービス提供を行ってきました。

特養あかねの郷では、介護支援システム『ライブコネクト』に加えて、職員の連携体制の取組みについて、インカムの導入を検討して県の事業を活用した伴走型トライアルを1ブロックにて進めてきました。取組み成果を報告会にて発表し、令和8年度に向けて導入の準備を進めることとなりました。

業務における生産性向上の取組みについて、毎月の会議にて検討しています。引き続き各事業所それぞれ、ご利用者様のニーズに応え、ご利用者の安全・安心並びに職員の負担軽減、連携強化に向けて取り組んでいきます。

自然災害、感染症等を想定した対応について、業務継続計画（BCP）を策定しており、これに基づきカードを用いたシミュレーション訓練を事業所にて実施しました。感染症や自然災害が発生した場合の対応をトレーニングして、ご利用者に必要なサービスが継続的かつ安定的に提供できるように備えます。あかねの郷が福祉避難所の指定を受けており、引き続き医療機関や行政・地域住民との情報共有、緊急時の施設受け入れ等の相談対応なども含めて実施していきます。

未だに、物品、流通価格などの生活における経費の高騰が継続しており、大きな負担となっています。世界情勢により日常生活における電気・ガス料金、燃料油価格もなかなか下がる見通しがなく、国際的な原材料価格の上昇や、円安による海外からの輸入コストの増加といった状況が続いてきた中で、法人においても食材費、電気代、燃料代及び消耗品などの経費の節約に努めてきました。また機械設備等の故障について町に支援をしていただき修繕しましたが、他にも経年的な劣化、消耗により例年よりも多くの設備、備品の故障や不具合が生じ、修繕してきました。今後も想定される修繕や機器等の更新について、計画的に実施できるよう準備をしていきます。

2. 事業別概況

(1) 社会福祉事業

①特別養護老人ホームあかねの郷

事業運営を開始して、21 年が経過しました。令和 7 年度は、90 床の受入体制として運営しました。

介護支援システム『ライブコネクト』を活用して業務改善と事故等のリスク管理に関して継続して取組み、また医療的ケアユニット体制や福祉用具を活用した安楽な介護の実践、24 時間シートによる情報共有も行ってきました。新たな取組みとしてインカムを使った連携体制により、業務の効率化を図るトライアルを行い、次年度に向けて準備を進めてきました。また施設の愛犬「まる」の様子、イベントや日頃の様子写真を事業所内に掲示したり、SNS へ投稿し、広く事業所の取組みや様子を広報しました。

延べ利用者数 32,734 名：通算利用率 99.7%(対定員 90)，前年度比 36 名減

②老人短期入所事業（特別養護老人ホームあかねの郷）

特養入居者の空床利用での運用としており、令和 7 年度はスポットでの利用がありました。

延べ利用者数 29 名，前年度比 20 名増

③老人デイサービス事業、障がい福祉サービス事業（生活介護）

「デイサービスセンターあかねの郷」では、身体機能の維持、強化を図れるように個別機能訓練を通して、個々の身体機能に合った日常動作訓練やマシンを使ったパワーリハビリ等を提供しました。運動の他にも趣味を活かしたぬり絵や手芸の他に、パズルやクロスワードなどの脳トレも実施してきました。また特化型では運動だけでなく、ショッピングリハビリや外出先でのノルディックウォークなども取り入れ、楽しみながら身体を動かし MCI（軽度認知障がい）の予防にも努めてきました。デイサービスだよりを発行し、ご家族にもデイでの様子をお伝えしました。

「あかねの郷」（定員一般型 45 名（10 月以降 50 名）

：週 6 日開所（10 月以降週 5 日），特化型 15 名：週 5 日開所）

延べ利用者数 12,925 名 前年度比 590 名減

（【介護】7,644 名，【支援】3,857 名，【事業対象者】1,387 名，【生活介護】37 名）

④老人居宅介護等事業、障がい福祉サービス事業（居宅介護）

「ホームヘルプセンターにちなん」では、総合支援法による障がい福祉サービス（居宅介護）も行っており、引き続きご利用者一人一人の状態に合わせて、在宅生活で本当に必要なサービスについて検討し、地域支援など社会資源を活用して生活を支える取組みをご家族、関係機関と協議し、サービス提供に反映しました。令和 7 年 9 月末で職員退職があり職員体制が厳しくなりましたが、令和 7 年 10 月以降基準該当サービス事業所として認定を受け、変わらずサービス提供を行いました。

延べ利用件数は、3,989 件：前年度比 613 件減

（【介護】1,560 件，【支援】2,142 件，【事業対象者】0 件，【居宅介護】287 件）

⑤認知症対応型老人共同生活援助事業

2ユニット（18名）にて運営をしてきました。

ご利用者とのかかわりの時間を増やす取組みとして、カラオケ機器を使ったレク活動、体操やテラスでの野菜、花の栽培などを行いました。また日南小学校4年生17名との交流を今年は2回、ゲームなどのイベントのほか演劇発表を行い、ご利用者にとっても活動の幅を広げてもらえるような取組みも行いました。

延べ利用者数 6,487名：通算利用率 99.6%(対定員 18), 前年度比 38名減
【介護】 6,487名)

(2) 公益事業

①居宅介護支援事業、介護予防支援事業

「ケアプランセンターあかねの郷」では、在宅介護サービス利用者の利用計画、調整などのサービス利用に係る支援事業を行ってきました。近年は、支援の利用対象者が増えている状況ですが、一方で介護の利用者が減り、延べ利用件数全体としては昨年度より減りました。

延べ利用件数は、2,691件：前年度比 132件減

【介護】 1,234件, 【支援】 1,400件, 【事業対象者】 57件)

②事業所内保育事業

令和7年度も日南町の施策支援（運営補助金、利用料軽減）を受けながら地域における公益的な取り組みとし継続して「事業所内保育事業」の運営を行いました。軽減された利用料について法人も減免を行い、実質利用料無料で利用をできることとしてきました。利用は、平日スポットと土曜、祝祭日が主で、感染対策を行って定期的な検温など体調管理に留意しながら行ってきました。次期の職員体制確保が難しくなり、今年度末をもって閉所することとなりました。

延べ利用者数 339名：前年度比 105名減

③介護職員初任者研修事業

介護の基礎的な知識や介護技術の習得を目指し、法人職員等の資格取得、スキルアップや地域における介護の担い手育成を目的に事業を実施しました。

・開講期間 令和7年5月7日～令和8年2月27日（総時間数 137時間）

受講終了者 2名

④介護福祉士実務者研修事業

介護福祉士の資格取得に向けた実践的な知識や介護技術の習得を目的に事業を実施しました。

・開講期間 令和7年6月6日～令和7年11月26日（総時間数 320時間）

受講終了者 4名

⑤有料老人ホーム事業

有料老人ホーム『あかね荘』は、19床で町内の高齢者で自立した生活ができる独居あるいは退院後の生活に不安等がある方などを対象として、年間を通して入居できる体制として運営してきました。12月中頃から3月中頃まで冬期入所の利用もありました。夏季の利用が少なく、秋季から春季には平均的に17～19名の利用がありました。

延べ利用者数は、5,696 名：前年度比 525 名増

以上の事業展開により、令和 7 年度の事業活動収支は、事業活動収入額 785,608 千円、事業活動支出額 772,071 千円、事業活動資金収支差額 13,538 千円となりました。

Ⅱ 活動状況

1. 法人の運営

(1) 役員会等の開催

①評議員会

(出席評議員全員承認)

会 議 等	時 期	内 容
第104回評議員会	令和7年 6月23日	令和6年度計算書類及び財産目録の承認について 役員（理事及び監事）の選任について
第105回評議員会	令和7年 12月11日	令和7年度資金収支補正予算の承認について
第106回評議員会	令和8年 3月24日	令和7年度資金収支補正予算の承認について 社会福祉法人日南福祉会定款の一部改正の承認について 役員等報酬規程の一部改正の承認について 令和8年度事業計画並びに資金収支予算の承認について

②＜理事会開催＞

(出席理事全員承認)

会 議 等	時 期	内 容
第170回理事会	令和7年 6月5日	令和6年度年度事業報告書並びに計算関係書類等の承認について 経理規程の一部改正について ストレスチェック制度実施規程の一部改正について 評議員選任・解任委員の選任について 役員候補者の推薦案と議案提案について 評議員候補者の推薦案と議案提案について 第3回評議員選任・解任委員会の招集について 第9回定時評議員会の招集について 車椅子移動用自家用車の更新（リース契約）について
第171回理事会	令和7年 6月23日	理事長の選定について 夏期賞与の支給について
第172回理事会	令和7年 9月18日	最低賃金に伴う準職員賃金の改定について 特養南ブロック居室エアコンの更新について デイサービス特殊浴槽機器の更新導入の入札（リース契約）について 給与規程の一部改正について
第173回理事会	令和7年 12月2日	令和7年度冬期賞与の支給について 令和7年度資金収支補正予算について 令和7年度第1回臨時評議員会の招集について
第174回理事会	令和8年 2月10日	日南町介護福祉センターあかねの郷職員宿舍新築工事設計 監理業務に関する入札執行について 育児・介護休業等に関する規程の一部改正について
第175回理事会	令和8年 3月10日	令和7年度資金収支補正予算について 令和8年度事業計画並びに資金収支予算について 定款の一部改正と議案提案について 役員等報酬規程の一部改正と議案提案について 準職員就業規則の一部改正について

		給与規程の一部改正について 育児・介護休業等に関する規程の一部改正について 令和7年度第2回臨時評議員会の招集について
--	--	---

③＜任意監査＞

会 議 等	時 期	内 容
任意監査	令和7年 5月22日, 23日	令和6年度決算について

④＜監事監査＞

会 議 等	時 期	内 容
監事監査	令和7年 5月13日 ～5月23日	令和6年度事業報告並びに決算について (監査報告書 令和7年5月23日提出)

(2) 経営会議の開催

- ・ 管理会議（隔週開催）
- ・ 運営会議（隔週開催）
- ・ 生産性向上に関する会議（毎月開催）

(3) 各種委員会の開催

- ・ 安全衛生委員会（毎月開催）
- ・ 入居選考委員会（毎月開催）
- ・ 苦情解決・接遇改善委員会（基本毎月開催）
- ・ 苦情改善第三者委員会（4月開催）
- ・ 感染症対策委員会（毎月開催）
- ・ 安全委員会（毎月開催）
- ・ 身体拘束廃止委員会（奇数月開催）
- ・ BCP 委員会（偶数月開催）
- ・ 人材育成会議（前期毎月開催、後期隔月開催）

2. 教育研修

(1) 内部研修

研 修 名	講師・内容	参加者
管理・指導者の研修		
被考課者研修	事業統括部長 入澤良子	24
考課者研修	事業統括部長 入澤良子	24
コンプライアンス等に関する研修		
身体拘束廃止・高齢者虐待防止研修	事業統括部長 入澤良子	148
コンプライアンス研修動画	ハラスメントに関する動画視聴	133
リスクマネジメント研修		
リスクマネジメント研修	事業統括部長 入澤良子 感染症対策委員長 田辺弘美	各部署
BCP 研修（感染症対応、災害対応）	事業統括部長 入澤良子	各部署
感染症予防研修	感染症対策動画視聴 ガウンテクニック DVD 視聴と実技	132
安全衛生に関する研修		
管理職メンタルヘルス研修	介護労働安定センター キャリアコンサルタント 桑本 玉枝氏	15
職員メンタルヘルス研修	e-ラーニング 15分でわかる働く人の睡眠と健康	全員

(2) 外部研修

研 修 名	主催者等	参加者
経営関係		
介護現場における生産性向上の取り組み普及セミナー	介護労働安定センター	2
最新の加算算定・人員体制・経営指標からみる今後も勝ち残るために必ず押さえるべきポイント	ドクターメイト株式会社	1
生産性向上委員会公開勉強会 「義務化された生産性向上委員会を形だけで終わらせない、組織を巻き込む方法と成果を出す方法」	株式会社エクサホームケア	1
鳥取県特定技能外国人(介護)マッチング支援事業 事業説明会	鳥取県長寿社会課	1
都道府県経営協セミナー	鳥取県社会福祉施設経営者協議会	1

社会福祉法人役職員研修会	鳥取県福祉保健部福祉監査指導課	1
令和7年度社会福祉法人組織管理研修会	鳥取県社会福祉協議会	1
社会福祉法人会計実務研修 計算書類の見方	鳥取県社会福祉協議会	2
人材育成関係		
福祉職員キャリアパス対応生涯研修 (チームリーダーコース)	鳥取県社会福祉協議会	4
福祉職員キャリアパス対応生涯研修 (管理職員コース)	鳥取県社会福祉協議会	2
介護福祉士試験取得に向けての日本語教育の取り組み方	外国人材拡大プレイス	1
リーダーの育成方法を徹底解説 管理職として職員にどう向き合うか	株式会社エクサホームケア	1
リスクマネジメント関係		
令和7年度防火管理等講習会	(一財)日本防火・防災協会	1
応急手当指導員養成講習	西部広域行政管理組合消防局	2
応急手当普及員講習	西部広域行政管理組合消防局	1
労務管理関係		
介護労働者雇用管理責任者講習 (雇用管理総論・人材育成・職場定着)	介護労働安定センター	1
介護労働者雇用管理責任者講習 (安全衛生管理)	介護労働安定センター	1
令和7年度 試験評価者養成講習	一般社団法人シルバーサービス振興会	1
福祉事業所の人材確保・定着支援セミナー	鳥取県社会福祉協議会	1
介護人材定着研修	全国老人福祉施設協議会	1
社会福祉法人労務管理研修	鳥取県社会福祉協議会	1
介護人材確保総合セミナー	全国老人施設協議会	2
メンタルヘルス関係		
事業場内メンタルヘルス推進担当者養成	中災防・中国四国安全衛生サービスセンター	1
介護現場におけるカスタマーハラスメント対策研修会	鳥取県長寿社会課	1
人権・権利擁護に関する研修		
2025年障がい者虐待防止等研修 (共通基礎研修)	鳥取県社会福祉士会	1

令和7年度高齢者虐待防止・権利擁護研修会	長寿社会開発センター	2
日南町同和問題職場研修会	日南町人権センター	27
介護支援専門員の実務に関する研修		
介護支援専門員更新研修	鳥取県介護支援専門員連絡協議会	1
ケアプラン点検支援マニュアル改訂版の要点解説とDX事例セミナー	株式会社ウェルモ	1
第1回長寿社会開発センター研究セミナー	長寿社会開発センター	6
認知症医療連携研修会	鳥取県西部医師会	4
鳥取県介護専門員連絡協議会研修会	介護専門員連絡協議会	1
令和7年度ケアプランデータ連携システム普及加速化モデル事業説明会	鳥取県長寿社会課	4
第3回長寿社会開発センター研究セミナー	長寿社会開発センター	3
介護福祉士の実務に関する研修		
鳥取県認知症介護実践者研修	鳥取県社会福祉協議会	4
介護専門職研修（起居・移乗・ポジショニング）	鳥取県社会福祉協議会	2
介護専門職研修（接遇・対応力向上）	鳥取県社会福祉協議会	1
介護専門職研修（介護現場における意思決定支援）	鳥取県社会福祉協議会	3
介護専門職研修（生産性向上で変える介護の現場）	鳥取県社会福祉協議会	2
介護専門職研修（新人研修）	鳥取県社会福祉協議会	2
介護専門職研修（アソギ・マネジメント）	鳥取県社会福祉協議会	3
介護専門職研修（認知症）	鳥取県社会福祉協議会	3
介護専門職研修（高齢者と楽しむレクリエーション）	鳥取県社会福祉協議会	1
介護専門職研修（移乗）	鳥取県社会福祉協議会	1
特養における認知症ケアの実践と本質 BPSD の理解と寄り添うケアのプロセスを解説	株式会社エクサホームケア	2
認知症を学ぶ30分ナイトセミナー	認知症介護研究・研修仙台センター	1
認知症介護実践リーダー研修	鳥取県社会福祉協議会	2

認知症介護基礎研修	長寿社会課	1
認知症チームケア推進研修	認知症介護研究・研修仙台センター	3
ユニットケアに関する研修		
2025 年度ユニットケア研修（ユニットリーダー研修）	日本ユニットケア推進センター	1
運営指導対策の活用に関する研修会	株式会社エクサホームケア	1
ケアの質の向上に関する研修		
LIFE フィードバックを徹底攻略 データを活用するためのポイントを小濱氏が解説	株式会社エクサホームケア	2
第1回ホームヘルプの質を高めるオンラインサロン	全国ホームヘルパー協会	1
その他		
吾郷会リモート研究発表会	社会福祉法人吾郷会	1
賛助会員交流会	介護労働安定センター	1

（３）人材育成

① 新採用職員研修

令和 7 年 4 月に 4 日間開催

（令和 7 年度の新採用、4 名対象の研修）

＜研修内容＞

- ・法人の理念と運営方針、職場秩序について ・就業の基本、給与規程
- ・安全衛生教育 ・人事考課制度について ・地域医療と福祉
- ・感染症対策 ・高齢者虐待と身体拘束
- ・緊急時の対応、リスク管理の基本

② 人事考課制度の運用

- ・働き方の指針（行動基準）及び業務標準（職種別）の内容見直し
- ・個別面談（一次考課）と内容の検証、整理、フィードバックの伝え方
- ・評価表、働き方の指針などのツールや考課期間、結果の反映について

③ 人材育成会議内容

- ・職員研修計画について
- ・社内研修報告について
- ・人材育成体制の充実化

（階層別研修：1 年目研修 2 名、2 年目研修 3 名、リーダー育成研修 2 名）

④ 法人内実践報告会

令和 8 年 3 月 6 日開催

※各報告を録画して保存し、後日各職員で閲覧及びホームページに Youtube 動画として掲載。

【職員報告】

演 題	報 告 者
『やりたい』を支える余暇活動 ～ユニットケアの強みを活かした実践～	特別養護老人ホームあかねの郷 西村 猛志
地域のウェルネス拠点 ～つながる・ひろがる・ふれあいの場を目指して～	あかねフィットネス 西村 朋美
離れても隣にいる安心感 ～ベテランの「司令塔」化 とインカム連携で変わる現場の生産性～	特別養護老人ホームあかねの郷 手島 淳

⑤ 令和 7 年度中の採用者数

新採用者 4 月 1 日 4 名（登用者 2 名含む）

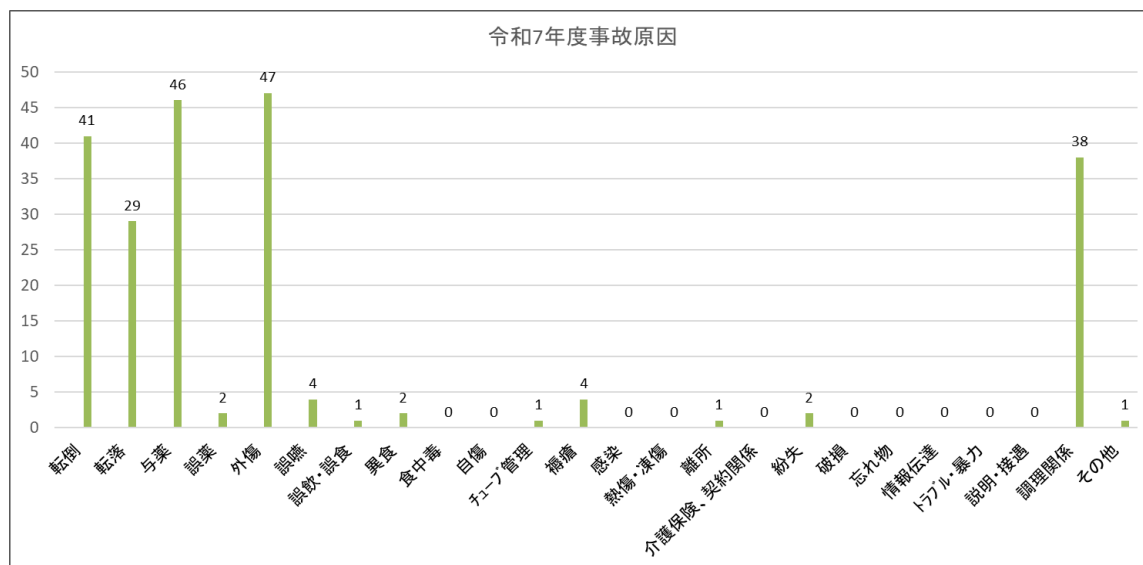
定年退職再雇用者 2 名

中途採用者 8 名

3. リスクマネジメント

(1) 特別養護老人ホームあかねの郷

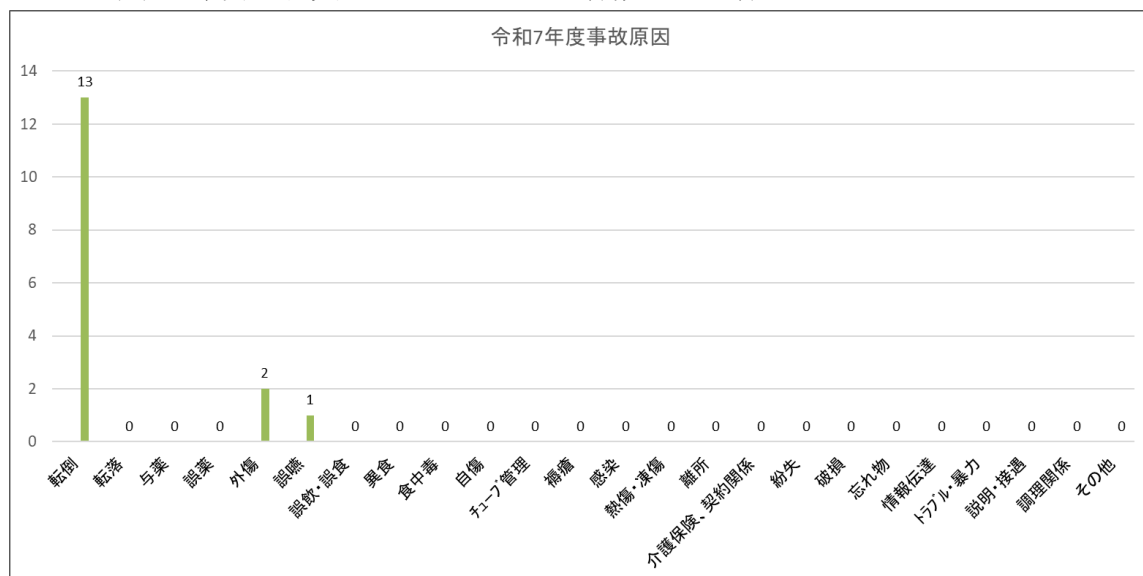
令和7年度 事故及びひやり・はっと件数 219 件



- ・事故種類別に上位をみると、外傷 47 件、与薬 46 件、転倒 41 件、転落 29 件の順になっている。
- ・令和6年度と比較し、特養全体の報告件数は 59 件増加した。
- ・項目別では、調理関係 37 件、与薬 26 件、転倒 12 件増加した。

(2) グループホームあさひの郷

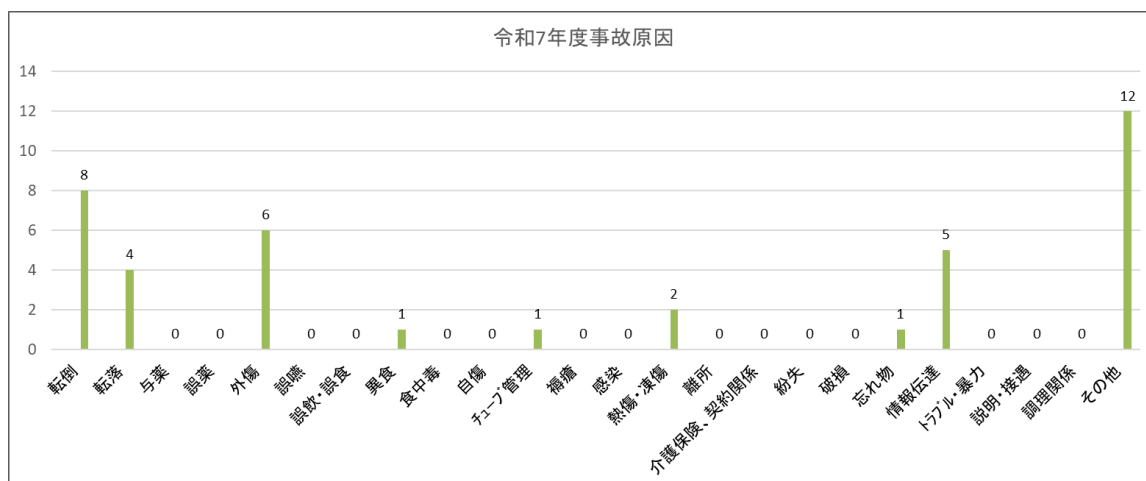
令和7年度 事故及びひやり・はっと件数 16 件



- ・ひやり・はっと報告は、令和6年度と比較して全体で 6 件減少となり、主に転倒 7 件減少した。
- ・事故種類別に上位をみると、転倒 13 件、外傷 2 件の順になっている。

(3) デイサービスセンターあかねの郷

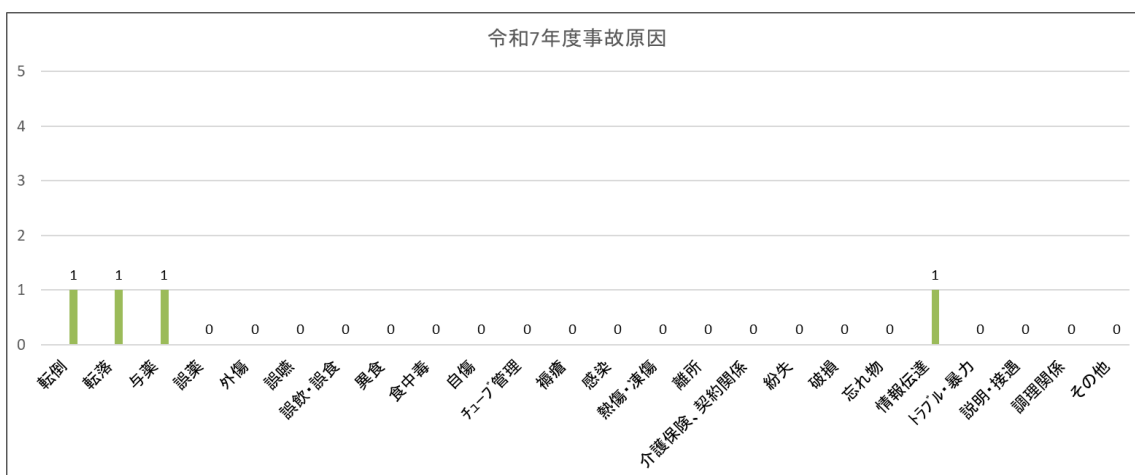
令和7年度 事故及びひやり・はっと件数 36 件



- ・ひやり・はっと報告は、令和6年度と比較して全体で19件増加となった。
- ・事故種類別では、その他12件、転倒8件、外傷6件、情報伝達5件の順となっている。

(4) ホームヘルプセンターにちなん

令和7年度 事故及びひやり・はっと件数 4 件

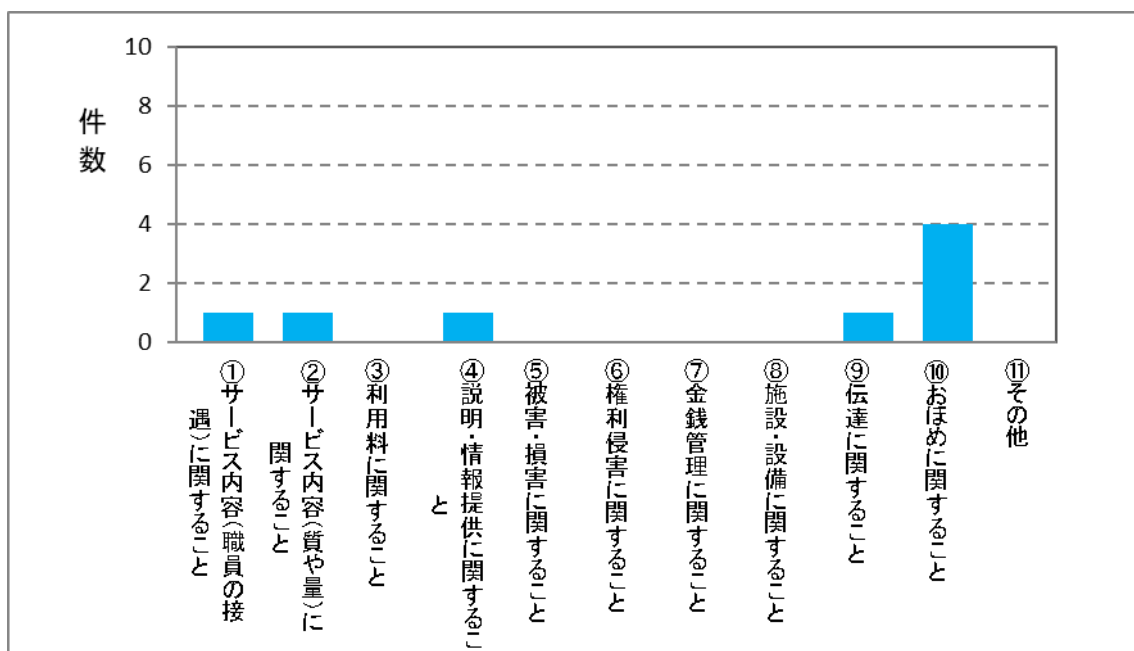


- ・ひやり・はっと報告は、令和6年度と比較して全体で2件増加となった。
- ・事故種類別では、転倒1件、転落1件、与薬1件、情報伝達1件となっている。

レベル0：実施されていないが実施されれば被害が予想される
 レベル1：実施されたが被害がなかった
 レベル2：事故により何らかの変化が生じ、観察及び検査の必要性が生じた
 レベル3：事故により治療の必要性が生じた
 レベル4：事故による被害が一生続く
 レベル5：事故が死因となる

4. 苦情、要望、意見、おほめ

＜苦情、要望、意見＞



・ 苦情、意見等の総件数 8 件

- ・ 令和 7 年度の苦情、意見等の総件数は、令和 6 年度より 4 件多い 8 件であった。
- ・ 情報提供・伝達に関する事、ご利用者の介助に関する改善すべきご意見をいただいた。
- ・ 苦情、意見等の主な内容は、おほめに関する事であった。
- ・ 地域の方に盆栽を飾っていただき、ご利用者の楽しみにもなり、喜ばれていた。
- ・ おほめの言葉も頂き、職員にとって大きな励みに繋がっている。感謝と喜びは充分感じながら、更なるサービス内容の充実に努めたい。

5. 地域貢献活動

(1) インターンシップ

- ・ 大阪健康福祉短期大学 (1 名)
- ・ 日野高等学校 (1 名)
- ・ 新見高等学校 (3 名)
- ・ 米子南高等学校 (1 名)

(2) 視察・研修受け入れ

- ・ 令和 7 年度学生のための福祉の職場見学支援事業：県社協主催
(日野高校 2 年生 3 名)

(3) ボランティア及び寄付行為

- 令和 7 年度ボランティア実績 23 件 156 名
- 令和 7 年度寄贈実績
17 件 (野菜、米、タオルなどの寄贈)
- 令和 7 年度寄付金実績 49 件

(4) 講師等派遣

ホームヘルプセンターにちなんより日野高校介護職員初任者研修に係る社会人講師派遣を行った。

6. 広報活動

- (1) 広報あかね空 (年4回発行)
- (2) 特養あかねの郷便り、ユニット便り、家族会便り (年4回発行)
- (3) グループホームあさひの郷便り (年4回発行)
- (4) ホームページ並びに Facebook 更新

7. 記事

- (1) 4月1日、年度始め式を行った。
- (2) 4月1日～4日、新採用職員研修実施(介護職2名)した。
- (3) 4月17日～18日、クライアントPC(39台)の更新作業が完了した。
- (4) 7月16日、あかねの郷空調冷却塔補給水メインバルブの凍結による破損の修理完了した。
- (5) 8月31日、特養あかねの郷 夏まつりを行った。
- (6) 9月5日、施食法要を行った。
- (7) 9月21日、敬老祝賀式典を行った。
- (8) 9月28日、町の支援により、北西污水中継槽ポンプ制御盤の落雷による故障の修理完了した。
- (9) 10月5日、日南町総合防災訓練に参加した。
- (10) 11月1日、あかねフィットネス(土・日曜)のプレオープン(正式オープンは、12月1日)をした。
- (11) 11月14日、デイサービスの特浴をシャワー浴タイプの機器に入替更新完了した。
- (12) 12月2日、あかねの郷空調冷却塔補給水管の凍結防止ヒーターの取替完了した。
- (13) 1月5日、新年年始式を行った。
- (14) 1月8日、町の支援により、あかねの郷浄化槽のポンプ制御盤の落雷による故障の修理完了した。
- (15) 1月14日、北西污水中継槽の故障したフロート取替の修理完了した。
- (16) 3月6日、日南福祉会実践報告会を行った。
- (17) 3月26日、町の支援により、あかねの郷駐車場の造成工事が完了した。
- (18) 3月29日、特養あかねの郷 家族説明会・家族会総会を行った。
- (19) 各事業所行事等について
 - ・感染症対策に注意を払いながら各事業所で季節の行事を実施した。
 - ・年間を通して誕生日のお祝い等、工夫を凝らして実施した。

1. 職員管理

区 分		説 明						
(1) 退職の状況・ 職員の採用状況	①採用の状況 (うち再雇用)	介護員	看護師	理学療法士等	介護支援専門員	調理員	その他	合 計
		12 名	0 名	0 名	0 名	1 名	1 名	14 名
		(1 名)	(0 名)	(0 名)	(1 名)	(0 名)	(0 名)	(2 名)
	②退職の状況	退 職 日		定年退職	普通退職	期間満了	解雇	合 計
		令和8年3月31日付		1 名	1 名	6 名	0 名	
		年度中途		-	9 名	4 名	0 名	21 名
	③職 員 数 (年度末時点)	令和6年度	正職員	嘱託	常勤準職員	非常勤職員	臨時	合 計
90 名			4 名	20 名	40 名	2 名	156 名	
令和7年度		正職員	嘱託	常勤準職員	非常勤職員	臨時	合 計	
	86 名	0 名	25 名	36 名	2 名	149 名		
(2) 休業の取得状況・ 職員の休暇取得状況	①年次有給休暇の 取得状況	年間付与日数(最大)20日、翌年への繰越日数(最大)20日 一人当たり平均取得日数…10.14日 取得率(総取得日数/総付与日数および繰越日数)…32.95%						
	②特別休暇の取得状況	休暇の種類	休 暇 の 内 容				取得人数	合計取得日数
		リフレッシュ	年間3日間取得可能な特別有給休暇				133 名	325 日
		忌引	親族の喪に服したとき及び法要を営むとき等				21 名	66 日
		資格取得	職務に関係ある資格試験を受けるとき				0 名	0 日
		結婚	職員本人が結婚したとき				0 名	0 日
		配偶者出産	職員の配偶者が出産したとき				0 名	0 日
		産前産後検診	妊娠中または出産後1年を経過しない女性職員が 母子保健法に基づく保健指導または健康診査を受けるとき				1 名	1 日
		看護・介護	未就学児童の病気、けがの看護及び予防接種や健康診断・ 家族に2週間以上の期間にわたり常時介護の必要があるとき				17 名	75.375 日
	その他	理事長が必要と認めたとき(例:検察審査会、災害ボランティア等)				0 名	0 日	
③育児休業の取得状況	【新規取得】…1件 【期間延長】…0件 【前年度からの継続】…0件							
(3) 職員の懲戒処分の状況 (処分件数)		【懲戒処分】…0件						
(4) 職員の研修の状況	④職員の研修の状況	開催日	研 修 の 内 容					参加人数
		4月	被考課者研修					20 名
		5月	管理職メンタルヘルス研修					14 名
		4月、10月	考課者研修					24 名
		4月～6月	身体拘束廃止・高齢者虐待防止研修					136 名
		7月～9月	救急講習					53 名
		7月～9月	リスクマネジメント研修					各部署
		10月～2月	BCP研修(感染症対応、災害対応)					各部署
		12月～1月	コンプライアンス研修(録画視聴累計)					133 名
		3月	実践報告会(集合・動画視聴)					145 名
(5) 福利の状況・ 職員の状況	①健康診断の状況	<令和7年度> 定期健診 143名(805,168円) 特定業務従事者検診 47名(403,260円)						
	②職員の福利厚生事業	<日南福祉会職員互助会> 加入数 128名 事業内容…慶弔給付,交流会(忘年会)						

2. 職員給与等

(1)人件費の状況

区 分	サービス活動収益	経常経費寄附金収益	人件費	福利厚生費	人件費率
令和6年度	千円 776,576	千円 1,401	千円 601,962	千円 1,632	% 77.87%
令和7年度	千円 783,949	千円 1,236	千円 594,674	千円 1,971	% 76.23%

※人件費率＝（人件費＋福利厚生費）÷（サービス活動収益－経常経費寄附金収益）×100（％）

(2)職員手当の内訳

職 員 手 当 の 内 訳	区 分	役職手当	業務手当	資格手当	扶養手当	時間外勤務手当
	本 年 度	千円 6,124	千円 4,129	千円 8,947	千円 1,958	千円 6,064
	区 分	夜間勤務手当	非常出勤手当	年末年始手当	深夜勤務手当	宿日直手当
	本 年 度	千円 9,332	千円 47	千円 527	千円 5,064	千円 315
	区 分	待機手当	住宅手当	通勤手当	処遇改善手当	育児応援手当
	本 年 度	千円 207	千円 6,428	千円 6,869	千円 9,858	千円 0
手当合計						千円 65,869

(3)職員一人あたりの給与

令和7年度	平均本俸月額	236,762 円	令和7年4月1日格付による
	平均給与月額	298,311 円	令和7年度決算額による
	平均年齢	50.86 歳	令和7年4月1日時点による

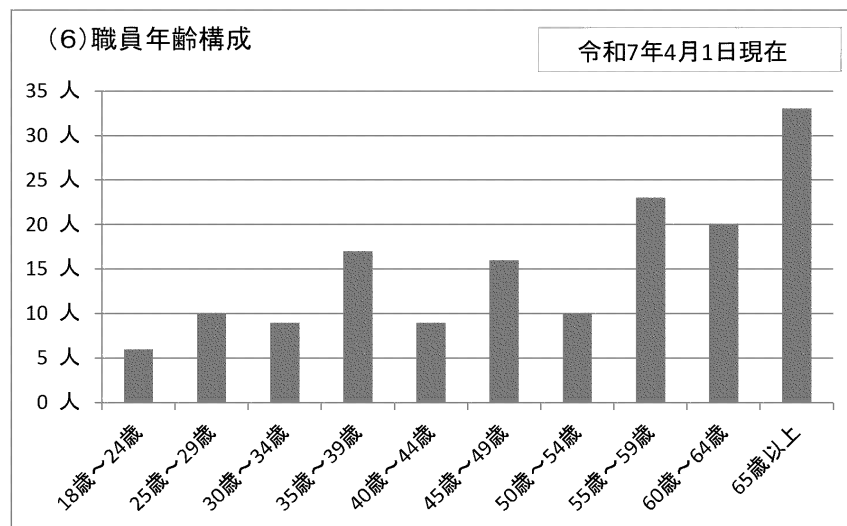
(4)職員の賞与の支給状況

	正職員	準職員
夏期支給率	1.2 月	0.6 月
冬期支給率	2.1 月+α	1.0 月
支給率計	3.3 月+α	1.6 月

※正職員は人事考課結果を上乗せ

(5)職員の初任給の状況

区 分		初 任 給 額	
介護職員 介護福祉士 生活相談員 サービス提供責任者 介護支援専門員	大 卒 (四年) 以上	184,800円	
	短大・専修卒 (二年)	177,700円	
	高 卒	176,850円	
看護職	大学・ 看護学校卒	正看	228,000円
		准看	213,000円
理学療法士 作業療法士 言語聴覚士	—	216,000円	
管理栄養士	—	193,000円	
事務職員	大学院 修士課程修了	190,000円	
	大 卒 (四年)	184,800円	
	短大・専修卒 (二年)	177,350円	
	高 卒	176,400円	
調理員 栄養士	—	178,000円	
柔道整復師 あん摩マッサージ指圧師 鍼灸師 歯科衛生士	—	193,000円	



3. 役員報酬の支給状況

区 分		年 間 支 給 額
役 員 報 酬	理 事 (7名※)	3,302,740 円
	監 事 (2名)	140,468 円
	評議員 (8名)	164,832 円

※理事7名のうち5名は職員であり、役員報酬は支給していない。

<事業報告の附属明細書（定款第 34 条第 1 項第 2 号）>

令和 7 年度事業報告に係る「事業報告の附属明細書」については、社会福祉法施行規則第 2 条の 25 第 3 項に規定する「事業報告の内容を補足する重要な事項」がないため、作成しないこととする。